

まらり

酒田市農業委員会報 No.37



「もちつき」 ～上田地区～

特集

農業委員会委員29名が新たな体制でスタート (2、3、4面)

農業委員会活動レポート (5面)

新規就農者の紹介 Fresh Farmer はじめの一步 (6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信 (7面)

農地銀行制度が変わります

酒田の“旬”を食す 一冬一 (8面)

27 年新春号

新たな体制でスタート

新しい農業委員を紹介します

農業委員会委員の改選が行われ、二月一日に二九名の委員が新たな顔ぶれでスタートしました。
また、総会の席上、会長に五十嵐直太郎氏、会長職務代理者に佐藤好博氏が再任されました。

就任のごあいさつ



会長 五十嵐直太郎
広野 (公選)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年の本市の基幹産業である農業の稲作については、農家の皆様の適切な肥培管理の下、作況指数一〇五（やや良）という作柄となりました。他方、消費減退に伴う在庫の増大を受け、米価の大幅な下落という現実が現場に突きつけられました。

また、経営所得安定対策や米政策の見直しをはじめ、政府主導による様々な会議の答申をテコに、JAや農業委員会の改革等々、矢継ぎ早にその政策が進められようとしています。

そして、調和のとれた貿易ルールとは程遠い市場主義偏重のTPPは、秘密交渉の下に置かれ、不透明な状況にあり、協定交渉参加に関する国会決議の遵守を、引き続き求める活動が必要であると考えています。

担い手不足や高齢化などの課題も含めると、農業を取り巻く環境や情勢は、かつてない厳しい状況にあります。多面的機能を有し、公共財としても素晴らしい。先人から受け継いだこの農地を、何としても次代の担い手に引き継いでいかなければなりません。

こうした中、昨年は農地中間管理事業の実施を受けて、担い手への農地集積やマッチング作業を円滑に進めるために『酒田市農地集積センター』が設立されました。また、平成二十一年の大幅な農地法の改正などの流れ



を受けて、JAをはじめ各農業関係団体で構成する『参考賃借料検討協議会』を立ち上げました。ここでは賃借料のあくまでも指標となる『参考賃借料』を総合的な視点から検討し、なるべく早期の公表を図っていきたいと考えています。

農業委員は地域の農業者から信任をいただき、代表としての役割を託された、大変責任のある立場にあります。この度の改選で農業委員二九名が新たな体制でスタートします。

農業が再生産可能な魅力ある産業として、将来にわたり位置付けられ、本市農業の発展につなげていけるよう、今後とも関係機関・組織からのご協力と連携を賜りながら、困難な状況を乗り切るために邁進していきたいと考えています。
今後とも、ご支援・ご鞭撻を願います。

【農業委員会の組織図】



農業委員会委員29名が



佐藤 好博
会長職務代理者
中野曾根（公選）

厳しい農業情勢の中、会長を補佐し、酒田の農業振興のため、また、農業者のために、新たな気持ちで頑張ります。



富樫 一彦
農地調査委員長
山寺（公選）

産業政策としての農業と地域政策としての農業。両立させるため、我々は何を為すべきか。新たな気持ちで頑張ります。



横山 主税
農地調査委員長
亀ヶ崎（公選）

農地中間管理機構への貸付希望農地と借受希望者の情報を基に、各地域の集積センターでのマッチング作業や、はり農地のことは農業委員会へ。頑張ります。



柿崎 一美
農業振興委員長
木川（公選）

激動し変革が求められている農業情勢の中で、農業委員は新たな農業のトレンドリーダーになりえる情報発信力の強化と、充実に向けた活動が重要である。



遠田 君雄
農業振興副委員長
下青沢（公選）

先行きの見えない農業情勢ではありますが、農業関係機関と連携し、課題を少しでも解消できるように、初心を忘れずに頑張ります。



後藤 保喜
会報委員長
北俣（公選）

「農業情勢は厳しいが、若さと情熱で立ち向かへ」母校の卒業式での式辞。あれから四〇年。厳しさは増す一方だが、皆さんと共に、何とか踏ん張らねば。



高橋 武
十里塚
(JAそでうら推薦)

遊休農地対策と畑作振興を柱に、若者から職業としての農業を選択してもらえようような環境を作っていききたい。酒田農業発展のため頑張ります。



荘司 太一郎
竹田（公選）

企業社会に於いて、課題多き農業。担い手優良農地確保等、地域農業活性化に少しでもつながるように頑張っていきたい。



伊藤 正明
上野曾根（公選）

今の課題、優良農地の確保と有効利用、担い手の確保と、農地の集積。今後の課題、伝統の継承と、新たに伝統を創る創造性。



佐藤 康晴
大島田
(JA庄内みどり推薦)

改革の名の下に農業政策が大きく変えられようとしています。特に水田政策は著しく変化します。委員会のみならず関係団体と一致協力して対処して参ります。



大場 重樹
千代田（公選）

農業を取り巻く環境や情勢が著しく変化する昨今ですが、地域農業振興向上に向け、委員としての役割と基本を大切に頑張ります。



庄司 隆
生石（公選）

地域には歴史と暮らしがあり、急ハンドルを切ると崩壊する。農地を含め次の世代へと引き継ぐことが農業委員の仕事。少しでも手助けになればと思う。



池田 良之
北平沢（公選）

日本の稲作農業経営は厳しい時代、地域農業者の声を聞きながら農地を守り「夢がある儲かる酒田の農業」を目標に活動して参ります。



五十嵐 亨
坂野辺新田（公選）

雲をつかむような農業の未来をいくらかでも鮮明に、確実なものとするために、皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。



尾形 大介
勝保関（公選）

地域農業を守り、元気が出る農業を築いていくために、農業委員として頑張りたいと思えます。



佐藤 良平
小泉（公選）

新規就農一〇年目。まだまだ未熟ですが、大役努力していきたいと思えます。農業振興は農村振興だと最近感じています。新たな視点で頑張ります。

農業委員は地域農業者の代表です。 お気軽にご相談ください。



白畑 ちか子
大町（議会推薦）

これからの三年間いろいろと勉強させていただき、少しでも皆様のお役に立てるように日々精進して行きたいと思えます。



佐藤 玲子
千代田（議会推薦）

女性組織の中で活動している（食育、地産地消、消費者と生産者の交流）を推進し、若い担い手が、夢の持てる農業を共に考え行動してゆきたい。



須田 正弘
山寺（土地改良区推薦）

輝かしい新春を迎え、農業者として今何を共有し提供できるか、ありのままに儲かる農業繋がる農業に挑戦していきたい。



五十嵐 弘樹
黒森（公選）

農業を取り巻く厳しい状況化の中、活気のある委員会作り、やりがいの持てる酒田農業を目指し、関係機関と連携し、農業の振興発展に努めたい。



飯塚 将人
本楯（公選）

米価の下落やTPP等多くの問題が山積している。地方を元気にするには、農業の安定が不可欠。担い手が意欲を持って取り組めるよう支援していきたい。



後藤 喜博
飛鳥（議会推薦）

この度議会推薦で農業委員となりました平田の後藤喜博と申します。若い目線、青年部活動での経験を生かし、精一杯頑張っていきたいと思えます。



関口 友子
藤塚（公選）

地域からの公選で二期目に入ります。酒田農業振興のために、若い担い手や農村の女性たちの小さな声を聞き、その力になっていきたいと思えます。



土田 治夫
飛鳥（公選）

政府が進める農業の地域政策・産業政策。難題も多いが将来を見据えて、今どうあるべきか？共に考え行動する農業委員でありたい。



佐藤 修
土淵（農業共済推薦）

この度推薦により委員になり現在の農業を取り巻く環境の中新たに農地中間管理事業が本格的に始動。益々委員会の重要性を感じ尚努力したいと思えます。



荘司 研治
堀野内（公選）

兼業や専業農家に限らず、農業に従事している方々の声に真剣に向き合い、能率良く仕事ができるように努めたいと思えます。



川村 洋
浜中（公選）

砂丘地園芸の将来像については、マクロの目で見据えて次世代に渡すべきであり、そのために日々、ミクロの耳をもってキメ細かく対応してゆきたい。



齋藤 均
手感田（公選）

日本の農業のためにチーズ職人の道を歩き始めました。（笑）今作っているのは、熟成を経て旨味が増すゴーダチーズです。熟成が一番旨いとをんな言ひ

第3回 農業委員会の出前相談を開催します

農地の貸借・売買・転用等農地に関することや農業者年金についてのご相談はありませんか？

農業委員が出向いてご相談をお受けいたします。

◇日時 1月28日（水）

午後2時～4時

◇場所 酒田市袖浦農業協同組合
総合会館

（袖浦・浜中地区以外の方も参加いただけます）

※今後、上記以外の地区でも実施の予定です。



＝退任委員の紹介＝

このたび、ご勇退された方々のこれまでのご努力に感謝申し上げます。

阿部重彰さん（城輪）
阿部裕子さん（亀ヶ崎）
佐藤六雄さん（塚淵）
佐藤六喜さん（穂積）
千葉明子さん（茨野新田）
村上淳子さん（本楯）

（五十音順）

農業委員会 活動レポート

農業委員自主研修報告

土壤改良資材加工施設等を見学

一月一九日から二二日に農業委員三名が静岡、愛知、大阪に研修に行ってきました。

静岡県富士宮市の㈱いでほくは、富士山の裾野にある生産から乳加工まで行う観光牧場です。鳥海山をシンボルとする牧場を持つ本市としても、参考になる部分がたくさんありました。

愛知県東海市、名古屋市では、



高炉スラッグの説明を受ける

新日鐵住金製鉄所から出る高炉スラッグを土壤改良資材に加工している(株)産業振興を訪問しました。この資材は、従来のものより半分の量で効果があるというもので、既に庄内でも散布が始まっているとのことでした。

また、大阪府八尾市では、農地のバンク制度と遊休農地解消について研修を受けました。

今回の研修で学んだことを、今後の酒田市農業の発展に役立てていきたいと思えます。

(齋藤均委員)

六次産業化と農業の未来

千葉県六次産業化サポートセンターでは、六次産業化を考えている生産者から相談を受けて、法定を受けるまでの段階を資金面から人材面に至るまで様々な形でサポートセンターが支援を行っているそうです。しかし、千葉県は首都圏に近いことから加工しなくても生鮮食品のまま販売できる環境にあり、六次産業化に取り組んでいる生産者はさほど多くないようでした。

ただ、後継者不足の問題は酒田市と同様に抱えており、加工や販

売も兼ねた六次産業化込みでの農業経営なら、後を継いでもよいという声も出てきているとのことでした。後継者不足を解消し、活力ある儲かる農業にするには、六次産業化は推進していくべきだと感じました。

(須田正弘委員)

全国農業担い手サミットに参加

一月二三日から一四日に、兵庫県で全国農業担い手サミットが開催されました。

初日の全体会では、兵庫県内の女性農業者五人によるパネルトークがありました。強いリーダーシップを発揮し、各地域で活躍する女性たち。家族経営協定を結び役割分担・報酬制を取り入れ、目標を持って営農していることや、農



レンコンの収穫作業を見学

家のお嫁さんの相談相手になっている点など、すばらしい女性たちでした。

二日目は、姫路エリアの農業視察。工場地帯にレンコン畑が点在しているのには驚きました。

(土田治夫委員)

1/7,000,000,000のきみと... ~農業青年の出会い交流イベントを実施~



庄内地区農業青年出会い交流事業が11月22日に開催されました。農家のおせっかいおばさん7名は、カップルを多く成立させたいという意気込みで本番に臨みました。その結果、本命カップル2組、お友だちカップル4組が誕生しました。

「恋の芽吹き2015」

|| 農業青年の出会い交流

イベントを開催します ||

日時 / 平成二七年二月一五日(日)

午後3時~

場所 / 酒田玉姫殿

内容 / ケーキ作り、交流パーティ

※ お問い合わせは酒田市農業委員会へ

Fresh Farmer はじめの一步

～ 新規就農者の紹介 ～



平田地区・砂越
阿部 雄太郎

地域の人とお米と私

私は、高校を卒業後に、五年間の会社員を経験してから、就農しました。

現在は水稲、大豆、そばなどを作っています。

農業をした初めての年は、それまで父親の農作業等をほとんど手伝ったことがなかったので、まったくゼロからのスタートでした。

何をするのか分からなくなったりときは、地域の皆さんから、今やることを何回も分かるまで教えてもらい、支えてもらいました。

ただ、ガムシヤラに働いた気がします。そして、気がつけば今年で五年も経っていることに、自分でも驚きます。

今では、以前と比べるとやるべきことが分かってきて、農業の楽しさが、少しずつ分かるよ

うになりました。そして、もっとおいしいお米を作りたいと思います。

また、米作りは、本当に色々な人たちとかかわることのできるのですが、とても魅力だと思います。会社員ときは、地域の人たちとの交流は、ほとんどなかったのですが、農作業や祭りなどを通して皆さんと知り合いになることができ、とても良い経験をする事ができました。

農業は、農作物を育て収穫するように、人とのつながりを深めて、広げていけるすばらしい職業だと感じています。

最近、米価の下落やTPPと農業事情は、一年一年と変わっています。私は負けずに、おいしいお米を作っていきます。それから、今年の四月に子どもが生まれたので、自分の作ったお米を「おいしいの」と言ってくれるのを楽しみにしながら、成長を見守っていきます。



かぜ

～ 若手農業者リレーエッセー～



私は、就農して九年目になります。以前は、県外の大手輸送会社に勤務していました。

経営は水稲、野菜栽培が主です。就農時は農業の右も左も分からず、ただただ父の仕事を見よう見まねでこなしたのを覚えています。

私が最初に入った農協青年部で、先輩、後輩から教わったことが、今の自分の農業になっています。盟友同士でお酒を飲み交わしながら、農業政策や水稲の生育状況などの情報を交換し、今後の農業に取り入れていきたいです。また、青年部食農教育の一環で地元小学校との田植えや稲刈り教室で子どもたちに農業の

地域農業の大切さ

亀ヶ崎 新 関 淳 浩

楽しさ、大切さが少しでもわかってもらえたらなあと思います。農業を取り巻く環境は、年々厳しくなっています。特に、地域における担い手不足です。各地域では法人化、組織化が進んでいます。今後一〇年、二〇

年先を考えると一時しのぎに過ぎないように思います。若い担い手の姿が見当たらないのです。若い人が安心でき、先に見える農業の環境作りが必要です。就農人口の増加が地域の活性化と農作物の品質向上につながっていくと思います。

ここ数年、低温日照不足、長雨やゲリラ豪雨などの異常気象で頭を悩ますところを得て役立っています。ハモグリバエの発生やいもち病など初めての経験も。植物は何も語ってくれないので、毎日の観察と肥培管理の重要性を感じています。

今後地域の人々を大切に、将来子どもたちが農業をやりたいと思えるよう、農業を楽しんでいきたいと思えます。

農業

西荒瀬地区・藤塚

堀 隆 士 一 秀 夫 妻

農業委員がおじゃましてお聞きしました!



隆士さん（八三歳）と秀さん（八二歳）が小松菜の収穫作業中のハウスにお邪魔しました。藤塚地区のハウス団地でメロン栽培を始めたのは、四〇年ほど前のことです。つる枯病に悩まされたこともありましたが、平成六年から数年にわたり、庄内の温室メロン品評会で最優秀賞を受賞。農作業に支障を来たすほど視察者が訪れたそうです。その後、燃料代の高騰を機に、暖房を使わないトマトやキュウリ、葉物野菜の栽培に経営転換しました。現在はご夫婦で一〇aのハウス二棟を管理し、市内

のスーパーに野菜を納入しています。堀さんのトマトが美味しかったからと名指しで買いに来るお客さんもいて、それが何よりうれしいと言います。

隆士さんの一番の楽しみは、毎日の晩酌です。また、舞踊の師範の資格をお持ちの秀さんは、かつては祭りなどで教えていたこともあり、踊りが大好きです。八〇歳を過ぎても二人そろって農業ができる幸せを日々感じています。「野菜も自分の子どもと思えば真面目に育てることが大切」と、大ベテランの助言も。春に収穫するほうれん草の種まきを二日前に行いました。お二人仲良く元気に農業を続けながら春までの生長を見守ります。

（関口友子委員）



短 信

農地銀行制度が変わります

農地の利用集積や農地に関する情報と相談活動を行ってきた「農地銀行」が変わる予定です。今年度から始まった農地中間管理事業を行うために設置された「酒田市農地集積センター」に、その役割が移行する予定です。

一月下旬に開催予定の農地銀行本店会議において、正式に決定されます。

農地中間管理事業の出し手・受け手を募集します。(3回目)

やまがた農業支援センターで、3回目の募集を行います。

◆募集期間◆

1月7日(水)～2月6日(金)

◆申込み方法◆

庄内みどり農協管農課、酒田市袖浦農協、農業委員会事務局へお申し込みください。詳細は市ホームページをご覧ください。

現場の声 国に届ける

市議会に提出された米の需給安定対策に関する請願など三件が、一二月定例会で採択されました。

これを受けて、米価下落に対する緊急的な対策の実施をはじめ、さまざまな要望が盛り込まれた意見書が、市議会から国会と政府関係機関へ提出されました。

農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

*** 農業者年金のメリット ***

- ① 少子・高齢化時代に強い積み立て方式の年金!
- ② 終身年金で80歳までの保証付き!
- ③ 保険料は全額社会保険料控除!
- ④ 手厚い政策支援! 保険料に国庫補助も!

年金・新聞のことは農業委員会までお問い合わせを。

酒田の“旬”を食す 冬



「食の都庄内」
親善大使
レストラン ロアジス
グランシェフ
太田 政宏

肉といえば、酒田では豚肉。昔から内陸は牛、庄内は豚といわれ、郷土料理の「芋煮」においても、内陸は牛肉でしょうゆ味、庄内は豚肉を使い味噌味で調理されています。

酒田での豚肉は、ほとんどが三元交配の三元豚です。高品質庄内豚の名前でブランド化され販売されています。肉に臭みがなく、肉のきめが細かく、脂肪があっさりして、とてもおいしい安心安全な豚肉です。

お正月料理に飽きてきたら、庄内豚の厚切りステーキに冬野菜をたっぷり、今回は酒田の在来野菜、八幡の升田カブと平田の赤ねぎを添えて。

ソースは、新米に合わせて焼汁としょうゆとバターで味付けしました。



庄内産もち豚のソテー

庄内産もち豚のソテー

材料（2人前）

- ・豚肉（ロース肉）…200g～300g
（厚く切って）1枚
- ・塩コショウ……………少々
- ・升田カブ……………2切れ
- ・赤ねぎ……………2切れ
- ・アスパラ菜……………2本
- ・サラダオイル……………大さじ1杯
- ・しょうゆ……………大さじ1/2杯
- ・日本酒……………大さじ1杯
- ・水……………大さじ1杯
- ・バター……………10g
- ・からし……………小さじ1/2杯

作り方

- ① 豚肉がちょうど入るくらいのフライパンにサラダオイルを入れ中火にする。
- ② 豚肉の両面に塩コショウし、フライパンに入れ両面に焼き色を付ける。280℃のオーブンで約2～3分。（オーブンがないときはふたをして弱火で3分くらい）取りだして銀ラップにくるむ。（銀ラップにくるむことによって中の肉がピンク色になる）
- ③ フライパンの油をボールにとり、そのフライパンに日本酒を入れ水を注ぎ、しょうゆを入れ弱火でちょっと煮て、からしを溶かし入れ、バターで味を調える。（ラップにたまった焼き汁も入れる。）
- ④ 別のフライパンを使い③で出た油で赤ねぎ、升田カブをソテーする。
- ⑤ アスパラ菜は塩ゆでし添える。
- ⑥ 豚肉を銀ラップから外し、約6枚に切り盛り付け、ソースをかける。

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本紙で紹介したように、編集委員も新メンバーとなりました。読みやすく役に立つ会報を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。さて、昨年は米価（概算金）

下落に悲鳴を上げた年でした。しかし、せめてもの救いは、作況指数一〇五に示されるように、まずまずの上作。耕起・田植えから出穂期まで天候に恵まれ、豪雨や台風による大きな自然災害もなく、生産に限って言えば良い年だったと思います。

どんなに農業技術が進歩しても、天気予報の確立が向上しても、農業は自然の恵みを受けて成り立つもの。元日の朝、多くの方々は神前に、自然の恵みと五穀豊穡を願ったことと思います。（ヤ）

新会報委員

委員長 後藤 保喜

副委員長 齋藤 均

委員 大場 重樹 池田 良之

五十嵐 亨 佐藤 玲子

後藤 喜博